

令和8年度 第2回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和8年5月12日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所本庁舎 4階会議室

第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和8年5月12日 午前9時30分～10時20分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番6 宍粟市役所本庁舎 4階会議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

柴山佑太 委員

中川まゆみ 委員

平田恵子 委員

事務局

大砂正則 教育部長

西嶋知栄 教育総務課長

川本正史 こども未来課長

大田貴久 施設整備課長

大北真彰 次長兼山崎学校給食センター所長

岩本浩二 教育総務課副課長

鳥羽千晴 教育部次長

中田 吏 次長兼学校教育課長

安川夏江 こども未来課長

清水将道 社会教育文化財課長

大谷哲也 副局長兼一宮まちづくり推進課長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、平田委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和8年度第1回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件
前回の会議録について、西嶋課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

次の3点について、中田教育長が報告した。

(1) 6月議会に上程する補正予算について

一般会計の補正予算案について、早期の補正が必要となるものを6月議会に提案します。

この後、各担当課より説明しますので、ご審議のほどお願いします。

(2) 奨学金の認定について

前回の教育委員会において奨学金の申請状況を報告しましたが、小椋・松本奨学金は4月14日に選考委員会を行い1名を認定、田中登奨学金は4月下旬に認定要件の調査を行い7名を認定しました。

(3) 部活動地域展開について

今年度第1回目の宍粟市部活動地域展開推進委員会が5月26日(火)午後7時から開催されます。本格的な実施に向けて協議が進められます。教育委員会としても一緒に取り組んでまいります。

6 議事

議事に入る前に、中田教育長から、第1号議案については、議会提案前の内容で意思決定の中立性の観点等から非公開としたい旨の説明があり、委員全員「異議なし」であったため、非公開審議と決定した。なお、第1号議案の審議は、「7 協議報告事項」の終了後、行うこととした。

7 協議報告事項

(1) 宍粟市内小中学校で認知したいじめ事案について(令和7年度1月～3月)

資料3～5Pにより、中田次長兼課長が説明した。

(2) 学校訪問について

資料6～8Pにより、中田次長兼課長が説明した。

(3) 令和8年度宍粟市教育課程柔軟化研究支援委員会について

資料9～13Pにより、中田次長兼課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

いじめ事案について、教師の気づきによる認知が非常に高まっており、昨年度ぐらいからそれが高まっていると感じていました。資料の5ページを見ますと、いじめを行った児童の家庭を学級担任や生徒指導担当教員が複数名で訪問されています。本当に多忙な中で複数対応や全職員での情報共有を行っておられることが、いじめ事案の解消につながっていると再確認しました。教員の努力に頭が下がる思いです。引き続き、よろしくをお願いします。

(中川委員)

片山委員が言われたとおり、教員が気づく件数が非常に増えたということで、ありがとうございました。また、資料の3ページの4番に保護者との連携とあり、教員が一生懸命関わってくださっていますが、保護者への協力要請や対応状況は、現在どのような感じでしょうか。

(中田次長兼課長)

先日ある小学校のPTA総会では、校長がいじめの認知について説明されていました。例えば、子ども同士のトラブルや喧嘩もいじめに当たる場合があるという定義を保護者の皆様に丁寧に説明されている学校もあります。保護者の皆様にも、国が示すいじめの定義が少しずつご理解いただけているのではないかと思います。家庭訪問を通じて「なぜこれがいじめなのか。」といったトラブルが発生したという報告は今のところ聞いておりません。委員のご指摘のとおり、保護者の皆様にもご理解ご協力いただけるよう、学校側へさらに丁寧な説明を続けるよう伝えていきます。

(中川委員)

教育課程柔軟化サキドリ研究校事業について、資料を読むと、苦手分野の学び直しや学年のグループ編成などを実施するとありますが、授業を組んでいく現場の教員にとって非常に難しいのではないかと思います。具体的にどのような感じになるか、説明していただけますか。

(中田次長兼課長)

12ページの資料にあるとおり、例えば河東小学校では年間で各教科の授業時数を30時間程度減らしています。単に国語を減らして算数を増やすという単純なことではなく、関係する教科の内容を一つの授業に集約するなどして、子どもたちの学びが減らないように工夫をされています。生み出された時間を使って、今年度の河東小学校では、苦手な算数に取り組むということで、例えば異学年のグループで算数に取り組み、上級生が自分の課題に取り組みながら下級生の困っているところを教えるような場面も見られました。新しい取組となりますが、1年間継続して様子を見ていきたいと思えます。

(片山委員)

サキドリ研究校事業について、11ページの組織体制や12ページのカリキュラムマネジメントを短期間で完成させることは、大変なご苦労があったことと思えます。2030年以降の宍粟の教育の先進的な見本になる事業ですので、ぜひ成功させていただきたいと思えます。

(中田教育長)

補足しますと、教育課程を学校が創意工夫して編成できるとしたのは歴史的に初めての試みであり、大きな意識の変化が必要です。これまでの画一的な教育を見直し、各学校の主体性を尊重して教育をつくり直そうという国の大きなメッセージがあります。また、それを支えるのは教職員です。教職員に「余白」を生み出し、子どもと向き合う時間や同僚性を高める時間を確保していける環境づくりを国も支援していこうとの背景があります。

この取組に手を挙げていただいた河東小学校の教員はクリエイティブな発想でこの研究に取り組もうとしています。教育委員会も共同研究というスタンスで全面的に支援していきたいと考えています。進捗状況は今後もこの会議で報告していきます。

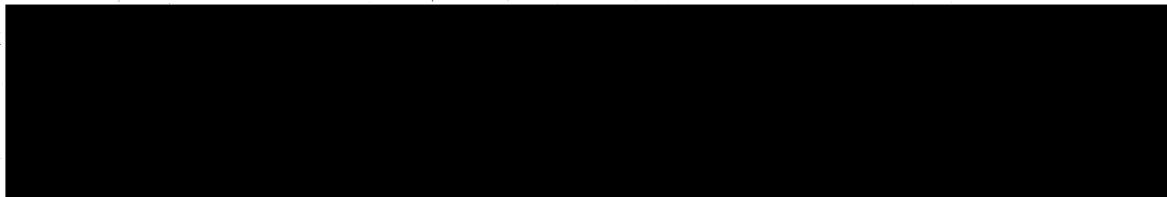
(4) しそう幼小架け橋プログラム推進事業について

資料14～15Pにより、川本課長及び安川課長が説明した。

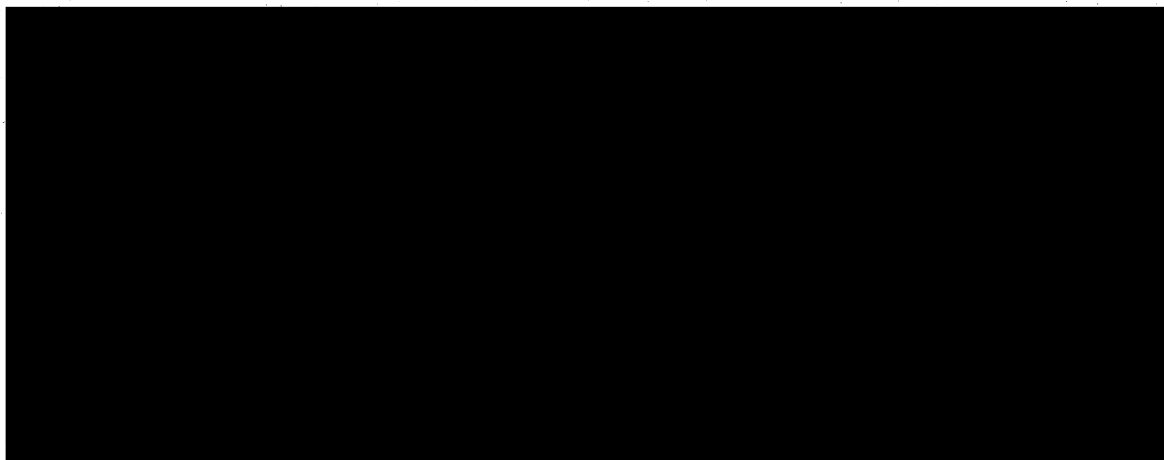
●非公開議事

「6 議事」の第1号議案の審議に入る。

第1号議案 令和8年度宍粟市一般会計補正予算（教育委員会関係、6月議会上程）案
について



委員の主な意見及び事務局の説明



8 次回会議の招集について

令和8年6月16日（火）午後4時15分から、宍粟市役所本庁舎4階会議室において、令和8年度第3回宍粟市教育委員会を開催することとした。

9 閉会

片山委員が閉会した。